

SONY

ノイズキャンセリング ヘッドホン

保証書と アフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

部品の保有期間について当社ではヘッドホンの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

一般仕様	
形式	密閉ダイナミック型
ドライバー	直径9mm
最大入力	50mW
インピーダンス	20 (ON時、1kHzにて) 8 (OFF時、1kHzにて)
音圧感度	102dB/mW (ON時) 98dB/mW (OFF時)
再生周波数帯域	10~22,000Hz
雑音抑圧周波数帯域	50~1,500Hz
雑音抑圧量	10dB以上(300Hzにて)
電源	DC 1.5V(単4形乾電池×1)
質量	約47g(単4形乾電池を含む)
付属品	
ソニー乾電池(1)	
イヤーピース(S、M、L各2)	
ホルダー(1)	
キャリングポーチ(1)	
取扱説明書(1)	
ソニーご相談窓口のご案内(1)	
保証書(1)	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告 この表示の注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

△注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

行為を禁止する記号

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

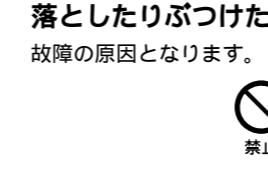
突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

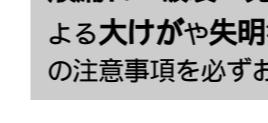
突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



△注意 下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のある場所には置かない

故障の原因となります。



△警告 下記の注意を守らないと、事故により大けがの原因となります。

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中はヘッドホンは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。また、このヘッドホンは周囲の音を遮断するタイプですので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こないと危険な場所では使わないでください。

△警告

落としたりぶつけたりしない

故障の原因となります。



肌に合わないと感じたときは、使わない

医師、またはテクニカルインフォメーションセンター、ソニーご相談窓口へご相談ください。



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

・アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくとも、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

・液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに

水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

・液が身体や衣服についたときは、すぐにきれ

いな水で充分洗い流してください。皮膚の炎

症やけがの症状があるときは、医師に相談し

てください。

△注意

使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●ナビダイヤル………

●携帯電話・PHSでのご利用は…

●Fax ……

0570-00-3311

03-5448-3311

0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

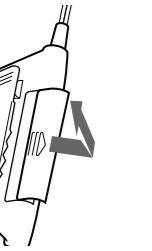
（全国どこからでも市内通話料金でお利用いただけます）

（お問い合わせはお客様ご相談センターへ）

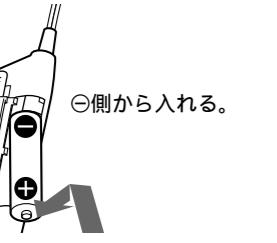
► 準備

乾電池を入れる

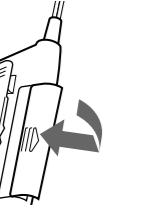
1 電池ケース裏側にある電池ぶたを開ける。



2 付属の単4形乾電池を入れる。



3 電池ぶたを閉じる。



乾電池の持続時間

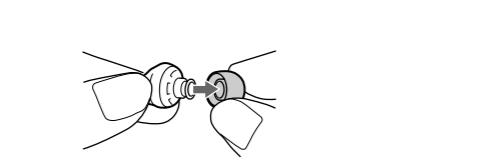
乾電池の種類	持続時間
ソニーアルカリ乾電池	約40時間
ソニー乾電池	約20時間

乾電池の交換時期

乾電池が消耗していくと、電池ケースのPOWERランプが暗くなっています。また、ノイズキャンセリング効果がなくなります。その場合、乾電池を新しいものと交換してください。

イヤ - ピースを選ぶ

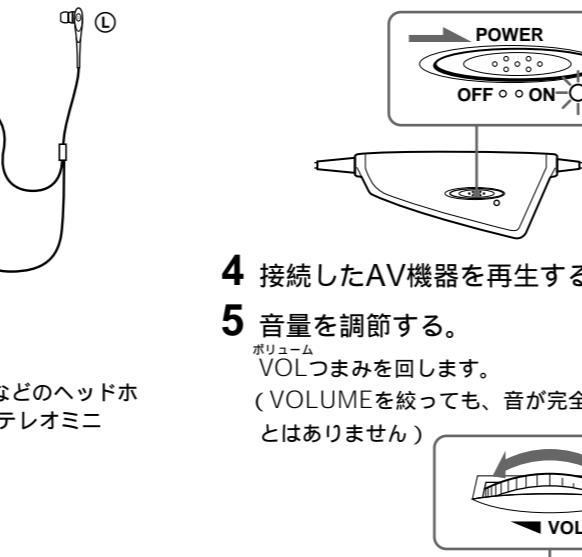
お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。



使いかた

音楽を聞く

1 聞きたいAV機器を接続する。



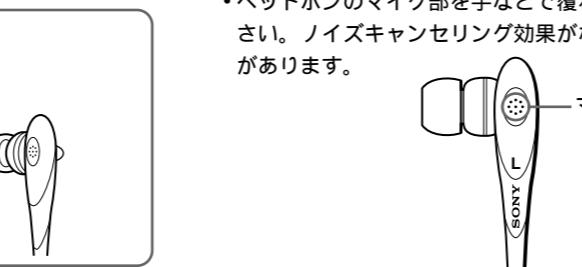
2 ヘッドホンをつける。

④の印のついた方を右耳に、①の印のついた方を左耳に付けてください。

イヤーピースと耳の穴が密閉するように、差し込んでください。

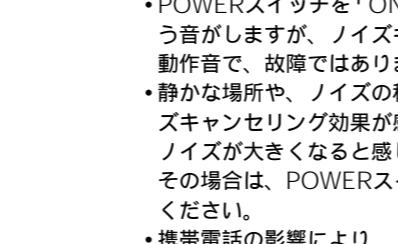
ご注意

ヘッドホンが正しく装着されていないと、ノイズキャンセリング効果が得られませんのでイヤーピースをおさまりの良い位置に調整したり、耳の奥まで押し込むなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください。



3 POWERスイッチを「ON」にする。
パワー

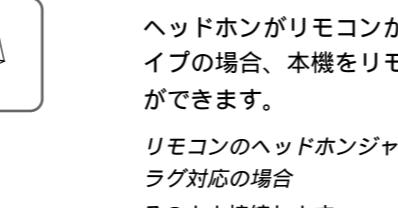
POWERランプが点灯します。環境ノイズが低減され、「OFF」のときよりも小さい音量で、より明瞭に音楽を聞くことができます。



4 接続したAV機器を再生する。

5 音量を調節する。

ボリューム VOLつまみを回します。
(VOLUMEを絞っても、音が完全に消えることはありません)



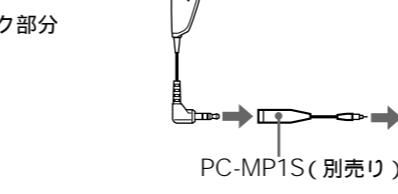
お使いになったあとは

POWERスイッチを「OFF」にしておいてください。

ご注意

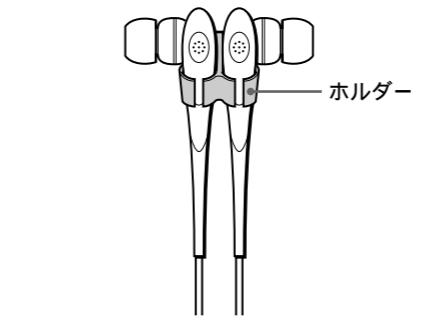
・ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域のノイズを打ち消すもので、高い周波数帯域のノイズに対しては効果はありません。また、すべての音が打ち消されるわけではありません。

・ヘッドホンのマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング効果がなくなることがあります。



持ち運ぶときは

付属のホルダーにヘッドホンを取り付けると、左右のヘッドホンがまとめて便利です。付属のキャリングポーチには中仕切りがありますので、ヘッドホンと電池ケースを別々のスペースに収納できます。



電池ケースはクリップで胸ポケットなどに挟むことができます。

クリップの使いかた



- イヤーピースのお手入れは、イヤーセットからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。
- イヤーピースは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、破損したら交換してください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。

故障とお考えになる前に

音が出ない。

- ヘッドホンとAV機器との接続を確認する。
- ヘッドホンにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
- つないだ機器の音量を上げる。
- 新しい乾電池と交換する。

音がひずむ。

- 接続したAV機器の音量を下げる。
- 新しい乾電池と交換する。

その他

取扱上のご注意

- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部はていねいに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを日々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。特に、プラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。

